

Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報

No. 91 2011. 01. 23.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

洗浄線通過時の車両損傷について 解明要求を上申

1月17日、鳥飼基地の仕業庫から出庫中のZ23編成が洗浄線を通過中に洗浄機の不具合で1号車のボンネットに洗浄機の一部が接触して車体を損傷させるという事故が発生しました。

同編成を出庫させていた構内操縦担当者がいち早く異常に気づき、停車したため、それほど大きな損傷にはならなかったようです。

2011年1月20日

JR 東海 労
新幹線関西地本
執行委員長 小林 國博 殿

JR 東海 労
大阪修繕車両所分会
分会長 坂東 貞男

1月17日に発生した車両損傷に関する申し入れ

1月17日、大阪仕業検査庫から出庫しZ23編成が洗浄線(洗浄機)通過時に何かが車体に接触し、車両が損傷するという事故が発生しました。

一部では、洗浄機の不具合があって、洗浄ブラシを支える支柱と車両が接触し、車両に損傷を与えたという話もあるが事故の詳細はほとんどわかっていないのが現状です。

鳥飼基地内の車両の入換え業務は大阪修繕車両所の担当であり、我が分会にも入れ換え業務に従事する組合員がいることなどから、基地構内の設備故障や不具合によって車両に接触事故が発生することは、組合員・社員の安全を脅かすものであると考えます。

この事故に関して申し入れをしますので、会社との協議をお願いします。

記

1. 事故の詳細について、時系列的に事故後の対応を含めて明らかにされたい。
2. 今回の事故原因と今後の対策を明らかにされたい。
3. 今回の事故に対して、会社は、一切を明らかにすることなく車両を修繕しているが、明らかにすると何か不都合でもあるのか明らかにされたい。
4. 300kmで走行するN700系の先頭車ボンネットの損傷ということだが、どのような損傷であったのか。また、どのような調査を行い、どのような修繕を実施したのか明らかにされたい。
5. 洗浄機等の設備について点検等はどのような周期で何処が担当して実施するのか明らかにされたい。また、本事故に至った洗浄機の点検実績を明らかにされたい。
6. 昨年もヒューマンエラーで洗浄機に車両が接触するということが発生しており、洗浄機の改良等を考えているか明らかにされたい。
7. 設備等の点検は定期的に行われていると思うが、今後は設備等の点検を入念に行われたい。
8. ヒューマンエラーの注意喚起だけでなく、このような事故についても広く社員に知らせることにより、社員に常日頃から異常時の対処を啓蒙するようにされたい。

その他の詳しいことは、分かりませんが、誰もけが人が出なかったのは幸いでした。

今回の事象では、車両が損傷するだけですみました。設備に故障・不具合が発生した場合、労災事故にもつながりかねない可能性が十分あります。

私たち大阪修繕車両所分会は、会社に対して事故の原因の解明、再発防止を求めるために新幹線関西地本に申し入れを行いました。